

高岡でエネルギー 再生装置を見学

砺波の消費者グループ

砺波市消費者グループ連合会研修会は11日、開かれ、市消費生活モニターら約30人が高岡市に本社を置くベンチャー企業「アルハイテック」の廃棄物で水素を発生する装置などを見学し、写真、リサイクル事業について学んだ。



きた容器を分別して処理し、資源・エネルギーに再生するプラントを製造している。

水木伸明専務があいさつした後、参加者は工場を見学した。麻生善之企画営業部長兼技術部長が開発状況や仕組みを説明し、環境に優しいリサイクル技術について学んだ。

■資源再利用技術に触れる
砺波市消費者グループ連合会は11日、エネルギーや資源リサイクルシステムの研究・開発などを行う「アルハイテック」(高岡市オフィスパーク)を訪れ、資源の再利用技術に理解を深めた。写真。

同連合会は、砺波市内の消費者団体でつくる。知識を深め、



消費生活に生かそうと、見学会を毎年行っている。今回は会員30人が参加した。

同社が開発した三つの設備を見て回り、ごみからアルミを取り出し、水素を発生させるまでの流れを学んだ。会員は真剣な表情で聞き入り、熱心に質問していた。

射水市の道の駅新湊とハリタ金属射水リサイクルセンターも回った。